



むなかた市議会だより

令和4年9月定例会号

●発行 / 宗像市議会 ●編集 / 議会広報編集委員会
●〒811-3492 福岡県宗像市東郷一丁目1番1号
●TEL 0940-36-1119 FAX 0940-36-8591
●市議会ホームページ=<http://www.city.munakata.lg.jp/050/080/index.html>



学生と議会広報編集委員会の議員

第3回 議会をもっと身近に

大学生 × 議員

次世代を担う若者に、少しでも議会の存在を身近に感じてほしいという思いから、9月28日、議場と委員会室で日本赤十字九州国際看護大学4年生の片山航大（こうだい）さん、宮之原里咲（りさ）さん、峯まはるさんと、広報編集委員会の上野崇之議員、岩岡良議員、木藤裕司議員、川内亮議員で意見交換を行いました。議場見学や模擬採決も体験してもらいました。

※新型コロナウイルス感染症対策に留意し実施しました。

峯 病気や精神疾患、認知症のある方と自身を線引き

日頃考えていることや議員に聞いてみたいことは？



峯まはるさん

ファミリー層や元気な高齢者が多く活気があるまちだと思います。



宮之原里咲さん

自然が豊か。赤間駅近くの川沿いの桜並木が好きで散歩しています。



片山航大さん

大島は海もきれいで、生活の中に信仰が息づいていて、住民が世界遺産に愛着を持っていると感じます。

宗像市の印象は？



議場で採決システムを体験



看護大学の学生ならではの視点から鋭いご意見をいただきました

することなく全員が自分ごととして考え、地域全体で支えていくことが必要だなと感じています。

片山 施策を行うにしても行政だけでは難しいと思うのですが、議会と行政の連携はどのように行われていますか。

宮之原 実習で地域包括支援センターに行かせていただきました。実習の中でさまざまな課題が見えましたが、市民の方が生活しやすいように議員はどのような取り組みを行っていますか。

岩岡 以前、難病についての相談を受けて一般質問をしたのですが、その後、補助制度ができたことがあります。市民の声を拾い、行政と一緒にできることを探

り続けることが、議員として大切な取り組みであり行政と連携するということかなと感じています。

川内 認知症サポーターや講座を活用して地域全体で解決していく。その人の当たり前を認められる社会を実現する取り組みが必要ですね。

上野 今日聞かせてもらったお話を基に議員自身も調査を深め、現場や職員の話聞きに行くきっかけを与えてもらいました。

意見交換を終えて

峯 普段の生活に疑問を持ち、政治への興味や自分の考えを持つことが大事だと感じました。議員のみなさんがしっかりと受け止めて

くれることも実感できたので、いろいろなことにアンテナを張ってみたいです。

片山 卒業後は県外の行政職員としてまちづくりに関わっていくことになりましたが、住民の声を行政だけではなく、地域全体で考えていくことがとても大切だと感じました。

宮之原 誰もが生活に不満を持ったり、生活しづらいと感じたりする瞬間があると思うのですが、それを市

【目次】

- ▼令和3年度決算を認定…2ページ
- ▼所管事務調査報告…3ページ
- ▼会派の主張…4～5ページ
- ▼一般質問…6～7ページ
- ▼議決結果・意見書…8ページ

●この他にも「生活しやすいが、交通面は不便」「議員になろうと思ったきっかけを知りたい」などさまざまな意見や質問をいただきました。詳細は議会HPに掲載します。

●令和元年度の宗像高校、東海大学付属福岡高校との意見交換以降コロナ禍により開催を見合わせていましたが、今回、3年ぶりに開催することができました。次回、福岡教育大学の学生との意見交換も予定しています。

に伝えるのは難しいと感じていました。でも今日、一人一人のニーズを伝えていくことが大切だと感じました。みんなでまちをつくるという意識を自分自身も持って、周りの人にも伝えていきたいです。

木藤 みなさん、しっかりと考えた方を持っていて、質問も的確で、たくさん教わることができました。就職先でも活躍されることを期待しています。

令和3年度決算を認定

一般会計

歳入 430億5562万円
歳出 405億3743万円

令和4年第3回宗像市議会定例会を、8月26日から9月21日までの27日間で開催し、市長提案の議案20件、意見書案2件について審議を行いました。

本定例会では、みなさんが納めた税金がどのように使われたのかなど、令和3年度の決算を2つの予算決算特別委員会で審査し、全ての会計の決算を認定しました。

令和3年度決算審査の内容

前年度と比較すると歳入は57億2千万円減で大きく減少しました。令和2年度は特別定額給付金の給付など、新型コロナウイルス感染症対策に係る関連経費が多額であったことが要因です。歳入決算額から歳出決算額を引いた形式収支は25億2千万円の黒字で、そのうち、令和4年度へ繰り越す財源4億円を引いた実質収支は21億2千万円となり、前年度から11億6千万円の増となりました。

また、経常収支比率は普通交付税の追加交付などにより、前年度から大きく改善しました。経常収支比率が低いほど自由度のある財源が多く生まれますが、追加交付は令和3年度限りの見通しのため、令和4年度以降の経常収支比率は元の水準に戻る見込みです。

令和3年度の主な事業実績として、次のような報告がありました。

●デジタル化推進事業では、子育てや中小企業支援関係の手続きで電子申請ができるように整備。ペーパーレス化やRPA、AIの導入の成果として、約76

〇〇時間の業務時間の削減、約3万3500枚のペーパーレス化、約1700万円の費用対効果があった。また、新たに設置したお

くやみ窓口によって手

続きに要する時間短縮など、ご遺族の負担軽減につながった。

●新型コロナウイルスワクチン接種事業では、令和3年5月から市民に対する1、2回目のワクチン接種を開始した。新型コロナウイルス感染症対策事業では、検査を希望する市内の保育施設、介護施設、障がい者施設等の職員を対象に、定期的・臨時的にPCR検査を実施。特に感染者が多い若い世代の無症状者の早期発見・対応の強化のため、希望する市民にPCR検査キットを配付した。

●燃油高騰に対する農業や漁業者の支援として燃油購入費に対する一部補助を実施。またコロナ禍で大きく落

ち込んだ宿泊需要の喚起を図るため宿泊キャンペーンなどを実施した。



12月20日まで（売切次第終了）

●オンデマンドバス運行事業では利用登録者数が運行開始当初よりも3・5倍に増え、事業が順調に進んでいる。利便性向上、利用者拡大、運行コスト削減などの課題解決に取り組んでいる。空き家等対策推進事業では、管理不全な空き家の発生を抑制するため、老朽空き家等除却促進事業補助金の交付を開始した。



タブレットでの授業の様子

●GIGAスクール推進事業では、タブレット端末を活用した授業を推進するとともに、会議のペーパーレス化や教材の共有化など、教員の業務の負担軽減を図った。全国学力学習調査におけるICT

令和4年度一般会計補正予算 全員賛成可決

歳入歳出をそれぞれ14億8,390万6千円増額して419億1,577万6千円とし、繰越明許費、債務負担行為、地方債の補正を行う予算案が提出され、全員賛成で原案のとおり可決しました。主な内容は次のとおりです。

●公共交通整備事業費の増額（817万6千円）

立地適正化計画で拠点に位置づけている駅や市役所周辺などの地域と地域公共交通網形成計画にある主要バス停など交通拠点について、人口分布や都市機能、交通利便性の調査等を実施する。オンデマンドバス「のるーと」の他地域への導入可能性を調査する。

●庁舎施設維持管理費および観光物産館管理運営費の増額（2,868万3千円）

庁舎や道の駅むなかたの電力調達について、契約していた電力会社が撤退したため、九州電力の最終保障供給で1年以内の契約をしており、これまでより電気料金が上がったため増額する。

●観光物産館改修事業費の増額（997万7千円）

道の駅むなかたに、車中泊ができる専用の施設としてRVパークを整備し、太陽光発電エネルギーを活用した電源設備を備える。

●予防接種（HPV）事業費の増額（6,862万4千円）

国の子宮頸がんワクチンの接種勧奨の再開を受け、予防接種事業に必要な経費を増額する。

●新型コロナウイルスワクチン接種事業費の増額（5億7,661万4千円）

1、2回目のワクチン接種を完了した12歳以上の市民を対象に、オミクロン株と従来株に対応したワクチンによる接種事業を実施する。

●市立学校体育館空調設備整備事業費の増額

（5,681万5千円）

城山中学校改築に伴い、体育館の空調設備を整備するにあたって、前払い分の事業費を増額する。



RVパークイメージ



城山中学校イメージ

主な意見

《賛成者の意見》

今後も光熱水費の上昇が予測される。全市立学校体育館に空調設備を整備することを考えると、光熱水費への支出増加が予測されるため、電力の自給自足に関する研究を要望する。

の活用分野に関する項目では、全ての項目で県・全国平均を大きく上回った。

●グローバル人材育成推進事業では、市内2大学や企業・団体の協力を図った。全国学力学習調査におけるICT



むなかた子ども大学での講座の様子

主な意見

《賛成者の意見》

▽住民主体の通いの場に保健師や管理栄養士などの専門家を派遣し、フレイル予防の取り組みを行っていることを評価する。多くの地域に広がるよう支援することを要望する。

▽ふるさと寄附については、新たな事業や財源がなく実施できなかった事業で、複数の効果が見込める事業を寄附

の充当先として検討してほしい。

▽扶助費の増加は市民ニーズに込んでいるからだと思うが、サービスの量が減る分、質が低下しないかをチェックする体制を整えてほしい。

▽物件費の上昇を抑えていく取り組みに今後期待する。費用対効果よりも市民の生命を守ることを優先したPCR検査事業は評価したい。

《反対者の意見》

▽基金は年々積み増されているが、自治体の財政は基金をため込むことが評価されるものではない。自治体は単年度決算であり、集めた税金は、その年度で教育・福祉などの向上に使うなど市民生活への支援に充てるべきと考える。また、基金を十分に活用した支援がなされていない点を指摘する。

▽個人情報保護条例の改正については繊細な問題を伴うので市民に丁寧な説明を求める。

※3年度決算の詳細は、本号（11月1日号）のむなかたタウンプレス4～5ページ参照

委員会レポート

総務常任委員会と建設産業常任委員会の所管事務調査
および社会常任委員会の行政視察の概要を報告します。
※所管事務調査とは委員会が自主的にその委員会が所管する
市の事務について行う調査です。



佐賀県武雄市での災害対策を調査しました



平成30年西日本豪雨の河東コミセン前

(1) 情報発信について
本市が発信する情報ツールの中で最も利用者の多いLINEを活用し、情報がより多くの市民に行き届くよう、市公式LINEの登録者をさらに増やす方策を検討すること。また、高齢者をはじめ全ての人に確実に情報が行き届くよう、戸別受信機などの活用を検討すること。

(2) 被災時の復旧体制について
災害後の復旧期における相談窓口を一本化するなど市民への支援体制を整え、遠方市町村との災害時応援協定の締結をさらに進めること。

総務常任委員会所管事務調査報告
今年3月から9月にかけて「災害対策について」をテーマに調査を行い、さまざまな取り組みを提言しました。過去の事例から見ても、本市では豪雨による災害が発生する可能性が高く、災害による被害を最小限に食い止め、誰一人取り残さない防災を実現するため、さらなる災害対策の充実を強く望みます。主な提言内容は次のとおりです。



岩手県釜石市魚市場
荷さばきの様子



鐘崎に漁港で整備が進む
高度衛生管理型荷さばき所

(1) 水産物の高付加価値化への取り組み
① 高度衛生管理型 荷さばき所の活用
▼ 宗像独自の運営体制を確立し、新鮮度、高品質化、高付加価値化を実現
▼ 荷さばき所におけるICT化の推進
▼ 卸売市場と連携した電子入札の導入や商流・物流の見直し
▼ 御製広場との連携活用
▼ 鐘崎漁港周辺区域への加工機能の集積
▼ 荷さばき所の広域活用



宮城県南三陸町の養殖について調査しました

② 宗像漁協と連携した取り組み
▼ 魚種や漁獲量ごとの販売戦略の策定
▼ 商品と一体となった効果的な情報発信
▼ 住宅地などへの移動販売
▼ アマダイなどの新たなブランド化
(2) 養殖業における調査研究
▼ 産官学民連携による陸上養殖
▼ ワカメなどの藻類養殖
(3) 新たな資源管理への対応
▼ 漁獲水揚げ情報収集におけるICTの活用
(4) 資源循環型漁業への取り組み
▼ 藻場を保全するため、ブルーカーボンの導入

建設産業常任委員会所管事務調査報告
今年3月から9月にかけて「水産業の振興について」をテーマに調査を行い、さまざまな取り組みを提言しました。本市の水産業は、漁獲量の減少や漁業者の高齢化、また、原油価格高騰や洋上風力発電などさまざまな課題に直面しています。一方、鐘崎漁港では、新たに高度衛生管理型荷さばき所の整備が進んでいます。今回の提言が、将来にわたって持続可能な水産業の確立に寄与することを強く望みます。主な提言内容は次のとおりです。



社会常任委員会所管事務調査
(行政視察) 報告
神戸市は、本市と同様に2050年までにカーボンニュートラルを実現することを宣言しており、これを背景に、経済と環境の好循環による持続可能な都市づくりのため、さまざまな取り組みを行っています。その中の取り組みの一つがブルーカーボンです。ブルーカーボンとは、海藻などの海洋生物が二酸化炭素を取り込むことで海域に隔離・貯蔵される炭素のことです。これによって大気中の二酸化炭素量の抑制が期待されています。神戸市では、海域と淡水域のそれぞれで、ブルーカーボンの推進に取り組んでいます。淡水域では、農業用ため池や貯水池での水草の植栽により、ブルーカーボンの推進に取り組んでいます。ブルーカーボン事業は単独では成立せず、生物多様化や里山・里海の保全、あるいは海洋に関する環境教育といった他の目的事業と協力しながら進めることで、それぞれの事業の価値を補完し合うものとなることを感じました。本市でこの事業を進めるにあたっては、あらゆる市民団体との接点を閉じることなく、協働の精神で行う必要があると考えています。



神戸市での視察の様子

視察先	内容
京都府亀岡市（7月26日）	カーボンマイナスプロジェクト事業について
大阪府堺市（7月27日）	ダブルケア相談窓口事業について
兵庫県神戸市（7月28日）	ブルーカーボン事業について

令和3年度特別会計決算 全7会計認定

住宅新築資金等貸付事業特別会計、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計、宗像市・福津市介護認定審査会特別会計、渡船事業特別会計、下水道事業会計の7つの特別会計について決算審査を行い、全員賛成もしくは賛成多数ですべて認定しました。

全員賛成で認定 国民健康保険特別会計

主な内容は次のとおりです。

●事業勘定

歳入決算額は102億6,655万2,188円で前年度比2.6%の増、歳出決算額は100億7,222万2,687円で前年度比2.8%の増となりました。

令和2年度の受診控えの反動により、令和3年度の1人当たりの医療費は過去最大を更新しています。

医療費適正化の取り組みとして、レセプト点検、柔道整復師施術療養費の点検、ジェネリック医薬品の普及、医療費通知の発送、特定健診受診者に対する運動助成券の提供などが行われました。レセプト点検効果率は初めて目標値の0.4を超え、0.43となっています。ジェネリック医薬品の普及では、先発医薬品の代わりにジェネリック医薬品を使用した場合の差額を記載した差額通知書の発行や医師会・薬剤師会等との連携による利用勧奨などの結果、数量ベースでの普及率は82.5%となり、昨年度より0.4ポイント上昇しました。

●直営診療施設勘定

歳入決算額は7,835万8,470円で前年度比1.9%の増、歳出決算額は6,982万5,313円で前年度比5.9%減となりました。新型コロナワクチン接種やPCR検査の実施による診療収入の増加などで歳入は増加した一方で、新型コロナウイルス関連以外での受診が減少傾向であったことなどにより歳出は減少しています。

会派の主張

宗像市議会には、令和4年9月1日現在で、8つの会派があります。それぞれの会派の活動方針などを紹介します。

◆市政の基本方針である施政方針は8月1日号むなかたタウンプレスに掲載されています。



◆各会派を代表する議員が、施政方針に対して質問を行う代表質問は議会だより6月定例会号に掲載しています。



活力がみなぎる宗像へ

宗像志政クラブ

代表

伊達 正信



(後列左から) 石松修議員、木藤裕司議員、安部芳英議員、小林栄二議員、井浦潤也議員、石田和代志議員
(前列左から) 神谷建一議長、伊達正信議員、吉田剛議員

宗像志政クラブは志を同じくする者が力を合わせて市政に携わり、宗像の進むべき道を求めようという思いで結成されました。

結成10周年を迎えようとする当会派は議員定数20人中9人を占める最大会派であり、それぞれ多種多様な人生経験を持つ個性豊かな議員で構成しています。

地域に根差した活動を行うことで、声なき声を聴き、想いを受け止め、広く幅のある当会派によって市政に反映させます。二元代表制の下、市政運営の抑制と均衡による緊張関係を保ちながら安全・安心な宗像づくりのため、スクラムを組んで汗をかきます。

また、最大会派として国・県とのつながりや広い人脈を生かし、未来を見据えて前向きな提案を行ってまいります。

令和4年度施政方針には「宗像が生んだ偉人、出光佐三氏は、『人間尊重』を理念に掲げ、『社会は人間がつくったものであり、人間を中心に据え、人間を尊重し、自己を尊重し、互いを尊重すべきだ。』と述べられました」とあり、市長は「宗像市の最大の財(たから)は『人』であると考えています。」と述べられました。連綿と続く人の営みが宗像の歴史文化となりました。私たちは宗像人として先人がつくり上げてきた豊かさを磨き上げ、激変する社会状況の中で新しい宗像を創造してまいります。

公明党

代表 石松 和敏



「市民目線・生活者視点」で

市政をチェック

「大衆とともに」の立党精神が示されてから今年9月で60年の節目を迎えました。私たち公明党議員は、市民の代表として「市民目線」「生活者の視点」を信条に地域や市民の小さな声を聴き、共に寄り添い課題解決に向けて活動しています。

さらに、学校プールの老朽化に伴う水泳授業の民間委託や、投票率向上に向けたサンリブ宗像店における期日前投票所の開設など数多くの政策提案が実現しています。

私たち公明党議員は、今後とも市政運営に対して、どこまでも現場の声を聴き、課題解決に向けて取り組んでいきます。

(左から) 岡本陽子副議長、石松和敏議員

未来むなかた

代表 北崎 正則



未来へむけ、

まちの新たな魅力をつくる

会派「未来むなかた」は、2期目の上野崇之議員、3期目の北崎正則で結成しています。

2人とも働く人たちの視点に立ち、地域の課題解決のため、日々、地域の方々の声に耳を傾け、活動しています。

活動については、次の3つの柱を大切にしています。

①多世代で住み続けられるまちに

②ともに学び支え合って生きる社会へ

③市民目線を忘れずに活動する
また、2人の特徴として、上野議員は子育て真っ最中ということもあり子育て目線や日々の気づきを大切にしながら活動しています。

私、北崎は元教師という立場から教育やスポーツ推進にも積極的に取り組んでいます。

私たち「未来むなかた」は、市政の場において、さまざまな指摘や提案をしていきます。

(左から) 北崎正則議員、上野崇之議員

日本共産党

代表 新留 久味子

今こそ！
命・暮らしを
守るために全力で奮闘



(左から) 新留久味子議員、川内亮議員



日本共産党市議団団長を務めた末吉孝が10月2日、永眠しました。故人が市政にこめた思いを引き継ぎ、新留久味子・川内亮の2人で頑張つていきます。

新型コロナウイルス感染症の発生からもうすぐ3年になろうとする今、市民の命・暮らし・営業をどう守っていくのか、このことがより一層、自治体に課せられています。

この間、共産党市議団は新型コロナウイルス感染拡大から市民を守る対策を求め、県や市に申入れを行ってきました。

これにより、県内でもいち早い事業者への支援金の給付、PCR検査センターの設置、PCR検査キットの無料配布、自宅待機中の陽性者へのパルスオキシメーター貸し出しなどの対策が実現しました。

また、毎月市内3か所で開催する弁護士による「無料法律相談」は、30年以上続いており好評です。いつでも市民のみなさんと共に奮闘する議員団をこれからもよろしくお願いたします。

市民連合

代表 福田 昭彦

市民目線で
市政を厳しく
チェックしていく



市民連合は、市民と共に歩む会派です。常に市民目線で市政を監視することが大変重要だと考えます。

時に行政は、市民不在のまま政策を推し進める可能性があります。そこで、行政が行う施策が果たして市民に本当にプラスになるのかどうかを市民目線で厳しくチェックし、市民ファーストになる施策を推進していかなければならないと考えます。

どの政党にも属さない、この団体にもつながっていない、完全無所属会派だからこそ、市民の立場に立つて自由に意見を主張することができる会派なのです。



未来保守クラブ

代表 森田 卓也

10年後もつと
誇れるまち宗像へ



令和4年3月議会から新しい会派「未来保守クラブ」を設立し、活動しています。

宗像市は福岡市と北九州市を結ぶ絶好のロケーションにあります。しかし、最近では活性化している周辺自治体と比べ、やや元気がないように感じる方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

私は、市民の皆さんが郷土への誇りと未来への夢を抱き、さらなる発展を期待していると感じています。これから多くの市民の皆さんの夢や想いを、商工業、農漁業、教育、福祉などさまざまな分野で展開し、活気あふれる街、暮らしやすい街を、行政との協調を基本に力打ちしていきます。

未来志向で前向きな会派「未来保守クラブ」をよろしくお願いたします。

ふくおか市民政治ネットワーク

代表 笠井 香奈枝

誰もが孤立せずに、
安心して
暮らせるまちに



ふくおか市民政治ネットワークは、この32年間、宗像市議会に女性議員を送り出し、市民のみなさんの声を聴き、生活の課題について一緒に解決を目指して活動してきました。

コロナ禍によって、私たちの生活・経済は大きく変化し、世界が激変する中で、生活はますます厳しくなっています。特に、子育てや介護をする家族の支援など、市民のみなさんが孤立せず安心して暮らせるように、政策提案なども行っています。

今後、財政状況が厳しくなるため、事業の取捨選択が重要となります。何よりも「子どもの健やかな成長」と「暮らし」を守るために、これからも市民と議会をつなぎ、市民目線で活動を進めていきます。

日本維新の会

代表 岩岡 良

古い政治を壊し、
新しい政治を創る



日本維新の会は「個人・地域・国家の自立」という政治理念の下に結党。国や県の判断がなければ市民の生活を守れない現行の地方自治制度を根本から見直し、権限と財源の地方移転を希求します。

30年先40年先の未来を見据え、眼下に広がる課題を同質・同様のものとして次世代に引き継がせることがないよう、逃げることなく課題の本質に焦点を当てた議論を展開します。

そのためには、自らがらみを断つべく、特定の団体・組織から一切の支援を受けることはない、そして、本来に必要な方への支援を可能とするため、「身を切る改革」を実践し、さらなる議会改革・行財政改革に挑みます。

令和4年9月定例会

一般質問

一般質問とは、議員が市の行政事務全般について市の見解を問うものです。

令和4年8月29日から9月1日までの4日間にわたって、17人の議員が市の方針や行政事務について、合計27項目の質問を行いました。

- ◆議員が質問を届け出た順に掲載しています。
- ◆掲載項目などは質問を行った議員がそれぞれの判断で選択しています。
- ◆質問の詳細については、録画映像もしくは11月下旬に公開予定の議事録をご覧ください。



消防団活動への理解促進のために
宗像志政クラブ／安部 芳英



問 処遇改善について、消防団の誇り、団結力、正義感、使命感などの団員の高い意識を損なわないよう配慮されているか。

答 今年度から団員の報酬等に関する制度を改正し、運用している。また、消防団活動への市民の評価は団員の活動意欲に直接影響すると考えるが、消防団活動に対する市民の理解が足りない部分もあると認識している。さらなる理解促進の方策を引き続き検討する。



日頃の訓練の成果を大会で披露する消防団

問 市民サービス協働化提案制度を活用するなど、市民と協働した消防団の

答 広報事業ができないか。また、コミュニティ運営協議会などの研修会で、広報啓発を行えないか。

答 市民サービス協働化提案制度の活用をはじめ、消防団の広報の手法を検討したい。可能であればコミュニティ運営協議会などの研修会の機会も活用し周知を図りたい。



宗像の教育の充実を図るために
未来むなかた／北崎 正則



問 本市の英語教育の成果と課題は。

答 英語力は年々向上し、英語で発表できる生徒が着実に増えている。課題は英語における学力の二極化で、教員が英語指導法を学ぶ機会が少ないことが原因の一つと考える。

問 小4を対象に行っているイングリッシュキャンプを、さらに中学校でも実施できないか。

答 キャンプ実施後の学校の英語教育との連携など、中学生を対象とした事業を検討したい。

問 A・L・T事業の今後は、子どもを取り巻く外



イングリッシュキャンプで外国の人との会話に挑戦

問 英語の状況に応じて、常に改善を目指していく。

問 若年教員の育成をどう工夫しているのか。

答 管理者が初任者の到達目標を判断し、全教職員で相談を受け、助言して育てることが大事だ。

その他の質問
新荷さばき所をどう生かすのか



食料自給率向上のために
宗像志政クラブ／小林 栄二



問 物価上昇に対する農業者や漁業者への支援の現状は。

答 市独自の燃油高騰に対する支援や収入保険制度への加入促進を実施し、化学肥料の高騰に対しては国や県の補助制度に上乗せして支援していきたい。

問 玄海地域のまちづくりの将来像は。

答 良好な自然環境などを保全するため、原則市街化を抑制していく。国道495号沿道では、道

の駅むなかたや周辺の観光レクリエーション機能と連携した商業サービス施設を誘導する。また、日常の生活サービス機能を備えたコミュニティ空間の形成を図り、都市機能が集積する中心拠点などを連携を深めることで、多様な世代が住み慣れた地域内で安心して住み続けられるまちを目指す。

問 農村における共有部分での維持管理を省力化することは、今後の農業の経営継続につながるが、いくつか考えられるが、市の考えは。

答 農村における共有部分の維持管理についての省力化は進めていく必要があると考える。そのため、国の交付金などの制度活用、重労働となつて



農業施設の維持管理状況について
宗像志政クラブ／石田 和代志



問 農道にくぼみなどがあれば、トラクターなどの横転事故発生も考えられる。市の対策は。

答 農道のくぼみやぬかるみは事故発生の可能性が高まるため、砕石舗装や坂道での舗装など、地域の状況を踏まえ積極的な支援に努めていきたい。

その他の質問
食品ロス削減の取組について



公正公平でバリアフリーな選挙を
宗像志政クラブ／石松 修



問 投票所、期日前投票所のバリアフリー化など、障がいのある人が投票しやすいように、どのような対応を行っているのか。

答 本人の意思確認は、場合によっては事前にメモ書きなどを用意してもらつたなど確実に確認できるよう対応している。サンリブくすりといと宗像に設置されている期



問 期日前投票所を、投票当日に投票区にかかわらず投票できる「共通投票所」とすることはできないか。

答 来訪者が増えた場合の職員体制など、期日前投票所としての在り方についての課題もある。当日投票所の統廃合なども含めて課題を整理しながら、研究、検討したい。



コロナ禍での施策について
宗像志政クラブ／伊達 正信



問 5歳から11歳までのワクチン接種率が極端に低い、その原因は。

答 有効性を確認できるデータが不十分で接種の努力義務もなく、市も積極的な勧奨を行っていない。また、保護者も副反応への懸念などから接種を見送つたためと考えられる。

問 コロナ禍で苦しむ小規模事業者の現状把握のため、定期的なアンケート調査が必要ではないか。

答 昨年5月と12月に調査をし、現在も行っている。また、金融機関や事



問 業者へのヒアリングも適宜実施しており、今後も積極的に取り組みたい。

問 国はコロナ禍の影響を受けた事業者へ実質無利子・無担保で融資を実施したが、償還期に入り返済できない事業者が出てきた場合、市の救済措置はあるか。

答 関係機関と情報共有して状況を把握し、必要に応じて対策を考えた



下水処理場・管路の老朽化対策を
公明党／石松 和敏



終末処理場

問 処理場は52年経過し耐震性能を有しておらず地震対策が必要。管路施設も耐用年数を超える施設が出てくるので、老朽化対策や道路陥没事故などを未然防止する予防保全が課題だ。市の見解は。

答 処理場の改築は、最も経済的で、老朽化・耐震化も短期間で解決でき、最新の省エネ技術導入が

できるリニューアル案が最適。管路施設は、議員提案の河内長野市の下水道管路施設包括的民間委託を参考に調査研究する。

公園トイレを洋式に
問 公園を利用している高齢者から膝などが悪く和式トイレでは用が足せないとの声を聞く。かぶせるだけで洋式化できるトイレを設置できないか。

答 リニューアルに時間を要する場合の暫定的対応として、トイレの利用状況や床面の広さなどの調査と地域住民や利用者の意向を確認し検討する。



プラスチックごみ問題について
未来保守クラブ／森田 卓也



問 循環型社会の形成に向けた、本市の考えは。

答 これまでの3Rの推進に加え、トウモロコシなどを原料とするバイオマスプラスチックを使用するなど、製品の素材を再生可能なものに替える視点も加味していく。

問 プラスチック使用製品廃棄物の分別収集が努

問 海洋ごみについて、漁協や漁業者との連携状況および課題は。

答 漁業活動に多大な影響を及ぼすため、自分たちの問題と捉え回収などをしている。今後は環境省の実証事業などを活用し、関係団体などと連携して取り組んでいきたい。



道路の側溝について

日本共産党／川内 亮



問 早くに開発された団地では、道路の側溝に蓋がない箇所が多くみられる。住民も長い間改善を要望しているが、対応してもらえないとの声を聞く。側溝に蓋をつける工事の基準と進めようは。

答 歩行者と車両の間隔が十分に取れないような道路の有効幅員4メートル以下の箇所から優先的に工事を行っている。今年度は日の里、自由ヶ丘地区で合計約300メートルの工事を予定している。

河川の整備を

問 河東地区を流れる横



水草が茂る横山川



宗像の未来、その具体像はあるか

日本維新の会／岩岡 良



問 企業誘致について、市長はいつまでにどの程度の目標を達成する予定か。また、達成後に見えるまちの姿は具体的にどのようなものか。

答 令和6年度までに3件以上の誘致が目標であるが、企業誘致によってまちの姿が大きく変わるということではないと認識している。

問 消極的すぎる。人口減少を迎える中、新住民獲得と定住化のためには変化が必要だと考える。30年、40年先に持続可能な都市として存在するためには、今から仕掛けが



必要であり、市長は、企業誘致も含め、明るい未来のまちの姿を具体的に示し、発信する責任があるのではないか。その一策として、まちの核となる企業の誘致に取り組む姿を示すべきではないか。

答 核となる企業を誘致するという考えはない。



宗像市におけるDX推進状況は

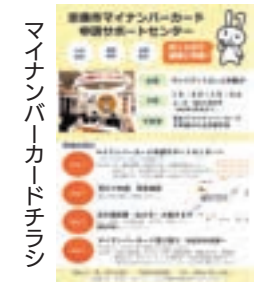
宗像志政クラブ／井浦 潤也



問 自治体DX（※1）において、誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化を推進するために、全ての市民を対象とする観点が重要であり、市の大きな柱として進めるためにも総合計画への位置づけを検討できないか。

答 まちづくりを進めていく中で、デジタル化は避けて通れないと考えるため、長期的な視点を持って作成していく総合計画に位置づけられるよう調整していきたい。

問 ユリックス、メイトム、子育て支援センター



マイナンバーカード持参やコミセンなど多くの市民が利用する公共施設に、移行可能な施設から順次手続きを始めていくが、指定管理者との調整などが必要な施設は、今後、検討・調整を進めていきたい。



市民に優しいDXの推進を

未来むなかた／上野 崇之



問 デジタル技術活用で市民に便利さを実感してもらった具体的な取り組みとデジタルデバйд対策は。

答 電子申請拡充やAIによる自動応答サービス導入を予定している。地域でのスマホ教室などを拡充し、利用者支援と二つの把握に努めたい。

問 プレミアム付き商品

学校水泳授業の民間委託



行った水泳授業の民間委託の成果と今後の展開は。

答 成果は、泳力向上、教員の負担軽減、天候に左右されず授業ができたこと。今後は学校プールの老朽度や管理経費、民間プールの受入体制、委託料などを総合的に判断しながら検討したい。



本市の空き家対策について

市民連合／福田 昭彦



平成30年の調査によると、空き家は全国で約848万戸にのぼり、空き家率は約13%で過去最高を記録した。国や自治体によってさまざまな対策が行われたが、空き家の増加は止まらない。

問 空き家になった理由や今後の利用意向などの調査を行っているか。

答 平成28年度に調査を実施した。空き家になった理由は所有者死亡が約40%、施設入所や家族との同居が約20%。利用意向は将来居住予定が約8%、処分予定が約58%、活用予定が約8%、何もしないが約18%である。

問 官民連携で空き家予防に力を入れるべきでは



答 これまでも住マイむなかたや民間事業者と共同でフェアや個別相談会を開催し、空き家の予防啓発を進めてきた。今後、多様な事業者と連携し、空き家予防の取り組みを推進したい。



子どもが安心して暮らせる生活環境を

ふくおか市民政治ネットワーク／筈 香枝



問 コロナ禍にある子どもたちの心身への影響や課題は。

答 心理的・身体的に窮屈であり、感染対策による社会的隔離が他人との心理的距離に影響を及ぼしている。子どもがストレス発散や密な交流を望んでいるが、我慢を強いられている状況が課題である。

問 コロナ禍において相談体制の強化が必要では。

情報モラル教育の強化を

問 市立学校の情報モラル教育で重視することは。

答 ネットやSNSの利用方法や対人関係、長時間利用による心身の健康面、適切な機器の管理の3点である。



市役所西館1階にある子どもの権利相談室（ハッピークローバー）

問 適切な支援が行えるよう検討していきたい。保護者に対しては、子どもの権利相談室の活用を周知すべきでは。

答 SNSの活用を工夫



コロナ後のスポーツのまちづくり

宗像志政クラブ／吉田 剛



問 運動部活動の地域移行について本市の考えは。

答 着実に進めるため、調査研究をしている。生徒を置き去りにしたまま移行しないよう、関係機関と連携、調整していく。

問 地域移行の際、高いレベルのソフトとハードを持つグローバルアリーナを受け皿にすべきでは。有力なパートナーの

グローバルアリーナ

問 宗像ユリックスやグローバルアリーナを会場に大会誘致などを進めている。

答 グローバルアリーナはコロナ禍で厳しい状況にある。本市は多大なる恩恵を受けてきたが、具体的な支援策はあるか。

答 市の施策に合致し、公益性のある事業については積極的に活用し、改めて市民にPRしていく。



誰もが必要な介護保険サービスを

日本共産党／新留 久味子



問 昨年度末の介護保険会計の基金残高は約12億円。基金を活用し、市独自の利用料の減免制度が実施できないか。

答 介護保険料の減額などについては、基金の活用と併せて慎重かつ適切に判断したい。

その他の質問
子どもの命を最優先した保育を



問 介護現場では、このような制度改正で、利用者の希望するサービスが抑制されている事例があるが、市の見解は。

答 詳細は把握できていないが、事実であれば改める必要があると考える。



带状疱疹予防接種への助成を

公明党／岡本 陽子



問 带状疱疹は3、4人に1人の確率で発症し、ほとんどが50〜70歳代である。予防にはワクチン接種が有効であり、後遺症の神経痛予防にもつながることが分かっている。ワクチン接種の周知や推進、助成について市の考えは。

答 带状疱疹ワクチンは、発症、重症化予防、



地方創生臨時交付金の拡充を

問 学校の空調整備や資材高騰に苦しむ農家、公共交通事業者に対し、地方創生臨時交付金を活用した支援ができないか。

答 国からの情報の収集、分析に努め、支援の必要性について検討する。

令和4年第3回宗像市議会定例会 提出議案と議決結果

9月定例会で審議した議案のうち、主な議案を紹介します。すべての議案の議決結果はホームページでご覧いただけます。
【全員賛成で可決した主な議案と内容】

議案番号	議案名	内 容
57	宗像市の議会の議員及び長の選挙における選挙運動用自動車の使用及び選挙運動用ポスターの作成の公営に関する条例の一部を改正する条例について	公職選挙法施行令の改正を受け、本市の議会の議員及び長の選挙における公費負担の限度額を変更するため、条例を改正するもの
58	宗像市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	地方公務員の育児休業等に関する法律等の改正に伴い、条例を改正するもの
59	工事請負契約の締結についての議決内容の一部変更について	令和3年7月2日に議決した令和3年第42号議案「工事請負契約の締結について（城山中学校改築工事）」の内容のうち、工事請負契約額について賃金水準及び物価水準が大幅に変動したことに伴い、工事契約約款の規定に基づき、請負契約額を変更するもの
60	工事請負契約の締結について	城山中学校改築事業に伴うPFI空調設備移設等整備工事の請負契約を締結するに当たり、議会の議決を求めるもの
74	財産の取得について	宗像市立学校21校の各教室にモニターやプロジェクターなどを導入するため、物品売買契約を締結するに当たり、議会の議決を求めるもの

【賛否が分かれた議案と議決結果（○：賛成した人 ◆：反対した人）】

議案番号	議案名	議員氏名 議決結果	川内	石松	木藤	石田	岩岡	上野	井浦	笠井	小林	吉田	森田	安部	岡本	北崎	伊達	福田	新留	石松	末吉
			亮	修	裕司	和代志	良	崇之	潤也	香奈枝	栄二	剛	卓也	芳英	陽子	正則	正信	昭彦	久味子	和敏	孝
61	令和3年度宗像市一般会計歳入歳出決算認定について	認定	◆	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	○	欠席
64	令和3年度宗像市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定	◆	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	○	欠席
68	令和3年度宗像市下水道事業会計決算認定について	認定	◆	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	○	欠席

※神谷建一議長には、賛成・反対の意思表示をする表決権がありません。ただし、賛成・反対が同数になった場合、可否を決める裁決権があります。

編◆集◆後◆記

末吉議員ご逝去の報は、宗像市にとって痛恨の極みとなった。党派や主義主張の違いにより、議会内で鋭く対立することは常であったが、それでも末吉議員の発言には、誰も皆深く耳を傾けた。それは、これまでのご功績はもとより、末吉議員が誰よりも宗像市を愛し、そして誰よりも「人」を愛したお方であったからだ。残念でならないが、これまでのご指導に衷心より感謝したい。

（岩岡 良）

市議会のくわしい情報
や議会中継はホーム
ページをご覧ください。

宗像市議会 検索

お問い合わせは 議会事務局へ
Tel.0940(36)1119

故 末吉 孝 議員



末吉孝議員が逝去されました
謹んでご冥福をお祈りいたします

末吉孝議員が10月2日逝去されました。末吉議員は昭和62年に宗像市議会議員に初当選して以来、9期35年余にわたって宗像市の発展にご尽力されてきました。故人のご功績を偲び、心から哀悼の意を表します。

意見書

2件の意見書案を可決し、国に提出しました。

中学校・高等学校における35人学級とさらなる少人数学級、定数改善」と「義務教育費国庫負担制度の2分の1復元」を求める意見書の提出について
〔全員賛成で可決〕

令和3年の制度改正に伴い、小学校での学級編成の標準は、段階的に35人に引き下げられるものの、今後は中学校および高等学校でも少人数学級の早期実施が必要である。

学校現場では、新しい学習指導要領による授業時数や指導内容の増加に加え、多様化する問題への対応などさまざまな課題がある。さらに、新型コロナウイルス感染症対策に伴う新たな業務も発生している。

このような状況において、子どもたちの豊かな学

びや教職員の働き方改革を実現するためには、加配教員の増員や少数職種の配置増など教職員定数の計画的な改善が不可欠である。国は、このような措置を地方的公共団体任せにするのではなく、国の施策として統一的に実施し、併せて、財源を保障していく必要がある。

義務教育費国庫負担制度については、「三位一体改革」の中で義務教育費国庫負担割合が引き下げられ、その結果、地方公共団体の財政が圧迫され非正規教職員も増えている。子どもの学ぶ意欲、主体的な取り組みを引き出す教育の役割は重要であり、そのための条件整備は不可欠である。以上の観点から、次の事項を要望する。

▼OECD諸国並みの豊かな教育環境を整備するため、児童生徒数30人以下の少人数学級を推進し、当面の学級規模については、1学級当たり35人以下を目指すこと。

▼教育の機会均等と水準の維持向上を図るため、義

（要旨）

経済財政諮問会議の答申を経て閣議決定された「骨太方針2021」において、地方の一般財源について、「国の一般歳出の取り組みと基調を合わせつつ、一般財源の総額について、2024年度までは2021年度地方財政計画の水準を確保」することを確認している。

2023年度も、政府予算と地方財政の検討にあたっては、コロナ禍への対応も勘案しながら、歳入・歳出を的確に見積もり、人的サービスとしての社会保障予算の充実と地方財政の確立を目指すことが必要であり、政府に次の事項の実現を求める。

▼社会保障、人口減少対策、地域交通対策、環境対策、行政のデジタル化、災害

対策など、増大する地方公共団体の財政需要を的確に把握し、これに見合う地方一般財源の確保を図ること。

▼子ども・子育て支援新制度、地域医療の確保、地域包括ケアシステムの構築、生活困窮者自立支援、介護保険制度や国民健康保険制度の見直しなど、急増する社会保障ニーズへの対応と人材確保のための社会保障予算の確保および地方財政措置を的確に行うこと。

▼住民の生命と財産を守る防災・減災事業は、公共施設の耐震化や緊急防災・減災事業の対象事業の拡充と十分な予算の確保を行うこと。

▼地方財政計画に計上されている「まち・ひと・しごと創生事業費」は、現行水準を確保すること。

▼地方公共団体の基金は、財政調整や特定目的のために積まれているものであるため、地方公共団体の基金残高を理由に交付税の削減等を強行しないこと。

※新型コロナウイルス感染症の影響により日程・内容などを変更する場合があります。傍聴される際は事前にホームページで確認するか議会事務局へお問い合わせください。

※1 予算第1：一般会計
※2 予算第2：特別会計・企業会計
※3 特別会計・企業会計
※4 一般会計・特別会計・企業会計
※5 一般会計・特別会計・企業会計
※6 一般会計・特別会計・企業会計
※7 一般会計・特別会計・企業会計
※8 一般会計・特別会計・企業会計
※9 一般会計・特別会計・企業会計
※10 一般会計・特別会計・企業会計
※11 一般会計・特別会計・企業会計
※12 一般会計・特別会計・企業会計
※13 一般会計・特別会計・企業会計
※14 一般会計・特別会計・企業会計
※15 一般会計・特別会計・企業会計
※16 一般会計・特別会計・企業会計
※17 一般会計・特別会計・企業会計
※18 一般会計・特別会計・企業会計
※19 一般会計・特別会計・企業会計
※20 一般会計・特別会計・企業会計
※21 一般会計・特別会計・企業会計
※22 一般会計・特別会計・企業会計
※23 一般会計・特別会計・企業会計
※24 一般会計・特別会計・企業会計
※25 一般会計・特別会計・企業会計
※26 一般会計・特別会計・企業会計
※27 一般会計・特別会計・企業会計
※28 一般会計・特別会計・企業会計
※29 一般会計・特別会計・企業会計
※30 一般会計・特別会計・企業会計
※31 一般会計・特別会計・企業会計
※32 一般会計・特別会計・企業会計
※33 一般会計・特別会計・企業会計
※34 一般会計・特別会計・企業会計
※35 一般会計・特別会計・企業会計
※36 一般会計・特別会計・企業会計
※37 一般会計・特別会計・企業会計
※38 一般会計・特別会計・企業会計
※39 一般会計・特別会計・企業会計
※40 一般会計・特別会計・企業会計
※41 一般会計・特別会計・企業会計
※42 一般会計・特別会計・企業会計
※43 一般会計・特別会計・企業会計
※44 一般会計・特別会計・企業会計
※45 一般会計・特別会計・企業会計
※46 一般会計・特別会計・企業会計
※47 一般会計・特別会計・企業会計
※48 一般会計・特別会計・企業会計
※49 一般会計・特別会計・企業会計
※50 一般会計・特別会計・企業会計
※51 一般会計・特別会計・企業会計
※52 一般会計・特別会計・企業会計
※53 一般会計・特別会計・企業会計
※54 一般会計・特別会計・企業会計
※55 一般会計・特別会計・企業会計
※56 一般会計・特別会計・企業会計
※57 一般会計・特別会計・企業会計
※58 一般会計・特別会計・企業会計
※59 一般会計・特別会計・企業会計
※60 一般会計・特別会計・企業会計
※61 一般会計・特別会計・企業会計
※62 一般会計・特別会計・企業会計
※63 一般会計・特別会計・企業会計
※64 一般会計・特別会計・企業会計
※65 一般会計・特別会計・企業会計
※66 一般会計・特別会計・企業会計
※67 一般会計・特別会計・企業会計
※68 一般会計・特別会計・企業会計
※69 一般会計・特別会計・企業会計
※70 一般会計・特別会計・企業会計
※71 一般会計・特別会計・企業会計
※72 一般会計・特別会計・企業会計
※73 一般会計・特別会計・企業会計
※74 一般会計・特別会計・企業会計
※75 一般会計・特別会計・企業会計
※76 一般会計・特別会計・企業会計
※77 一般会計・特別会計・企業会計
※78 一般会計・特別会計・企業会計
※79 一般会計・特別会計・企業会計
※80 一般会計・特別会計・企業会計
※81 一般会計・特別会計・企業会計
※82 一般会計・特別会計・企業会計
※83 一般会計・特別会計・企業会計
※84 一般会計・特別会計・企業会計
※85 一般会計・特別会計・企業会計
※86 一般会計・特別会計・企業会計
※87 一般会計・特別会計・企業会計
※88 一般会計・特別会計・企業会計
※89 一般会計・特別会計・企業会計
※90 一般会計・特別会計・企業会計
※91 一般会計・特別会計・企業会計
※92 一般会計・特別会計・企業会計
※93 一般会計・特別会計・企業会計
※94 一般会計・特別会計・企業会計
※95 一般会計・特別会計・企業会計
※96 一般会計・特別会計・企業会計
※97 一般会計・特別会計・企業会計
※98 一般会計・特別会計・企業会計
※99 一般会計・特別会計・企業会計
※100 一般会計・特別会計・企業会計

日程	内容
15 木	本会議（議案上程、提案理由の説明）
8 木	本会議（一般質問）
7 水	本会議（一般質問）
6 火	本会議（一般質問）
5 月	本会議（一般質問）
2 金	本会議（一般質問）
12/1 木	本会議（一般質問）
30 水	本会議（一般質問）
29 火	本会議（一般質問）
28 月	本会議（一般質問）
11/25 金	本会議（議案上程、提案理由の説明）

12月定例会の
（予定）日程